

(別紙)

1. 滋賀県環境保全基金の残高等

			金額 (単位:円)	備 考
①	基金総額 (前年度末基金残高)		280,254,201	
	内 訳	うち、国費相当額	140,127,100	
		うち、地方負担相当額	140,127,101	
		うち、負担附寄附金等		
②	基金運用益		106,342	
③	その他収入			
④	負担附寄附金等			
⑤	返納額			
⑥	基金執行額 (処分額)		67,347,045	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高		213,013,498	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内 訳	うち、国費相当額	106,506,749	
		うち、地方負担相当額	106,506,749	
		うち、負担附寄附金等		

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備 考
⑧	基金残高		213,013,498	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		213,013,498	
⑩	保有割合		1.000	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠

運用型: 運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)

取崩型: 基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等	基金充当額				
1	ムーブメント推進費	22,679,000	2,679,000	20,000,000		54%	21,688,000	78,897,498
2	びわ湖の日活動推進事業	1,979,000	0	1,979,000		37%	2,247,000	7,941,000
3	マザーレイクゴールズ (MLG s) 推進事業	10,383,330	3,281,130	7,102,200		45%	7,798,000	23,437,000
4	環境学習センター事業	3,166,218	0	3,166,218		51%	4,500,000	13,500,000
5	ごみゼロしが推進事業	14,850,191	1,800,000	13,050,191		44%	11,625,000	34,875,000
6	ラムサール条約推進事業	2,621,410	0	2,621,410		39%	2,936,000	9,480,000
7	琵琶湖流域におけるプラスチックごみの収支・起源と科学的情報発信に関する研究	12,470,526	0	12,470,526		32%	18,804,000	26,783,000
8	下水道を入り口とした環境学習推進事業	6,957,500	0	6,957,500		29%	7,000,000	17,100,000
9	外来生物防除普及啓発事業	0	0	0		0%	1,000,000	1,000,000
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		75,107,175	7,760,130	67,347,045			77,598,000	213,013,498

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	滋賀県における温室効果ガス排出量の削減目標として、2013年度比19.0%削減 (2030年度:2013年度比23%減)		
成果実績	2013年度比26.0%削減		
目 標 値	2013年度比19.0%削減		
達 成 度	137%		

w 事業報告書

事業名	ムーブメント推進費	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化防止活動推進センター運営事業	開始年度	平成14年度
担当部署	滋賀県総合企画部CO ₂ ネットゼロ推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

「地球温暖化対策の推進に関する法律」および「滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」に基づき、2050年CO₂ネットゼロ社会を目指し、県民及び事業者がともに行動を実施する機運を醸成する。主に家庭部門において、住民や地域によるCO₂ネットゼロの取組を支援し、CO₂ネットゼロに対する「認知」向上を図る。また、暮らしの中での省エネ行動や気候変動リスクの回避行動の定着を進め、「認知」から「行動」への変革を促すムーブメントを推進する。

<目標値>2030年目標（家庭部門）：2013年度比67%削減

2. 概要

2050年CO₂ネットゼロ社会を目指すためには、県民・事業者・行政が一体となり取組を進めるための基盤づくり（機運向上）と既に顕在化している気候変動への対処（適応策）が必要である。そのため、引き続き、「滋賀県地球温暖化防止活動推進センター」として指定する法人に対し、主に家庭向けの温暖化対策事業を委託し、節電・省エネ意識の向上を図るとともに暮らしの中での省エネ行動や気候変動リスクの回避行動の定着を進めていく。

3. 根拠法令等

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・気候変動適応法
- ・滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

4. 実施内容等

<啓発等>（継続）

- ・地球温暖化防止活動推進員等による啓発活動
- ・うちエコ診断 116件
- ・夏季の省エネイベント開催 1回
- ・自由研究講座の開催 3講座
- ・啓発プログラム・資料の作成
- ・学習支援事業（学校等への出前講座） 199回

<人材育成>（継続）

- ・地球温暖化防止活動活動推進員研修 3回
- ・地球温暖化防止活動推進員グループ会議の支援

<しがCO₂ネットゼロムーブメントの推進>（継続）

- ・ムーブメントの推進支援
- ・情報発信
- ・まちづくりの推進

事業報告書

事業名	ムーブメント推進費	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化防止活動推進センター運営事業	開始年度	平成14年度
担当部署	滋賀県総合企画部CO ₂ ネットゼロ推進課	終了年度	令和9年度

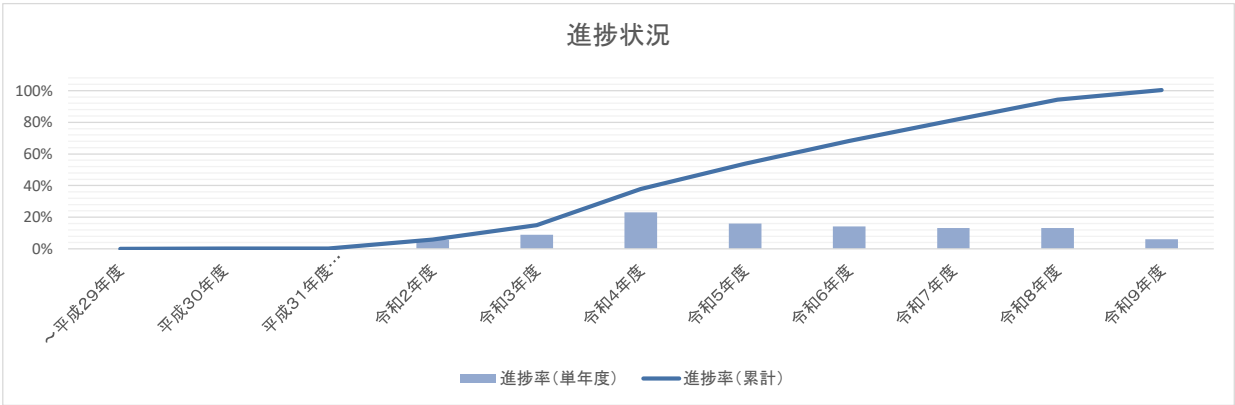
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	22,679,000	2,679,000	20,000,000	
負担金	0			
合計	22,679,000	2,679,000	20,000,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		246	197	8,568	12,490	31,925	20,000	21,688	20,000	20,000	17,210
事業費 (累計)		246	443	9,011	21,501	53,426	73,426	95,114	115,114	135,114	152,324

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		0%	0%	6%	9%	23%	16%	14%	13%	13%	6%
進捗率 (累計)	0%	0%	0%	6%	15%	38%	54%	68%	81%	94%	100%



令和 5 年度 事業報告書

事業名	びわ湖の日活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和 4 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部環境政策課	終了年度	令和 9 年度

1. 目的及び目標（値）

近年、琵琶湖における環境課題は多様化し、より多くの人が環境課題を自分ごととして捉え、自分にできる環境保全の取組を見つけ、行動していくことが求められていることから、「びわ湖の日」をきっかけとして、一人ひとりがそれぞれに合った方法で環境保全の取組を推進するための事業を実施する。

2. 概要

本県では、2015年に「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」が施行され、琵琶湖が「国民的資産」と明記された。滋賀県では、1980年に「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」（琵琶湖条例）を施行し、1981年に施行 1 周年を記念して 7 月 1 日を「びわ湖の日」と決定した。現在においても 7 月 1 日前後には県内で湖岸や河川、道路などの清掃活動が行われるなど環境保全活動を象徴する日となっている。滋賀県の環境保全を象徴する「びわ湖の日」をきっかけに、今までの清掃活動等に加え、琵琶湖や滋賀の自然（森・川・里・湖）に触れる機会の創出等により環境保全活動を促進する。

3. 根拠法令等

滋賀県環境基本条例

4. 実施内容等

(1) 「びわ湖の日」環境啓発イベントの開催

琵琶湖の環境を自分ごとと捉え、それぞれに合った環境保全や琵琶湖との関わり方を見つける機会として、将来的な環境保全行動の促進に繋げるため、親子（若年層）を対象に、「びわ湖の日」をきっかけとした環境啓発イベントを令和 5 年 6 月 24 日（土）、25 日（日）11:00～16:00 にイオンモール草津で開催した。

当日来場者：約 3,700 名

(2) 環境啓発広報物の掲出

屋外掲出用横断幕を掲出することにより、JR 琵琶湖線を利用する方々への啓発を実施した。

掲出期間：令和 5 年 6 月 17 日（月）～令和 5 年 8 月 23 日（金）

令和 5 年度 事業報告書

事業名	びわ湖の日活動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和 4 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部環境政策課	終了年度	令和 9 年度

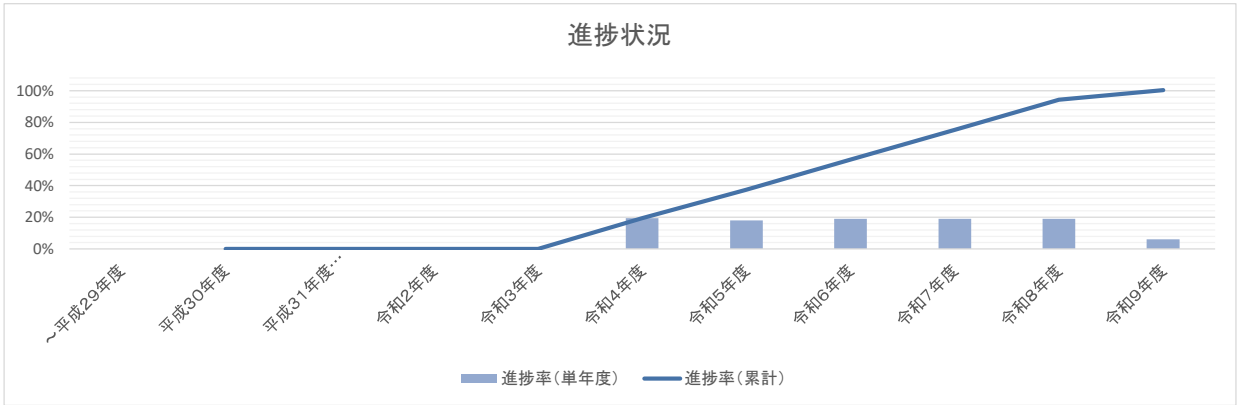
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
需要費	0	0	0	
役務費	66,000	0	66,000	横断幕の掲出
借料	0	0	0	
委託費	1,913,000	0	1,913,000	「びわ湖の日」イベント委託
負担金	0	0	0	
合計	1,979,000	0	1,979,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)		0	0	0	0	2,385	1,979	2,247	2,247	2,247	1,200
事業費 (累計)		0	0	0	0	2,385	4,364	6,611	8,858	11,105	12,305

6. 進捗状況等

年度	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)		0%	0%	0%	0%	19%	18%	19%	19%	19%	6%
進捗率 (累計)		0%	0%	0%	0%	19%	37%	56%	75%	94%	100%



令和 5 年度 事業報告書

事業名	マザーレイクゴールズ（MLGs）推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	MLGs啓発事業、webニュースサイト運営事業	開始年度	令和 3 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課	終了年度	令和 9 年度

1. 目的及び目標（値）

琵琶湖保全に関わる個人・団体間のフラットでオープンなつながりのもと、地域における多様な環境保全活動が自発的に創出され、ひいては琵琶湖流域の自然環境やそれをとりまく暮らしの改善につながり、マザーレイクゴールズ（MLGs）・SDGs の達成に寄与することを目的とする。

【令和5年度の事業目標】

- ・MLGsに関わる人々が集い、学び合う「MLGsみんなのBIWAKO会議/COP2」の開催
- ・MLGsに関するワークショップの開催 参加者 計200人以上
- ・MLGsの公式サイト運営 ページビュー数 40,000回
- ・環境とは違う切り口でMLGsを伝える動画コンテンツの作成・発信

2. 概要

令和3年7月1日「びわ湖の日」40周年の日に、多様な主体（事業者、NPO、企業など）が琵琶湖環境保全活動の共通の目標とする「マザーレイクゴールズ（MLGs）」を策定した。
それ以降、MLGsを琵琶湖環境保全に関する民官協働の取組の中心に掲げ、琵琶湖保全に関わる県民や様々な主体が、地域での活動を自発的に創出するよう、普及啓発に取り組んでいるところ。
具体的には、県はMLGs推進委員会の事務局運営や13のゴールの評価とその共有等を行うことで様々な主体の取組を下支えするとともに、県民のアクションを促すため、ワークショップ等の開催やニュースサイト・SNSの運営を行う。

3. 根拠法令等

琵琶湖の保全及び再生に関する法律(平成27年法律第75号)

4. 実施内容等

1. MLGs推進事業

(1) MLGsみんなのBIWAKO会議
MLGsに関わる人々が集い、ゴールの達成状況を確認しあい、今後に向けて学びあう「MLGsみんなのBIWAKO会議/COP2」を開催した。

(2) ワークショップの開催
県民のアクションを促すため、ワークショップを開催した。

(3) 公式サイト「MLGs WEB」の運営
MLGsの周知、およびその取組の盛り上げを図るため、公式サイト「MLGs WEB」を運営した。

2. 新たなMLGs動画の制作・発信

環境保全にあまり関心が無い層をターゲットにした、環境とは違う切り口でMLGsを伝える動画コンテンツを作成し、発信した。

令和 5 年度 事業報告書

事業名	マザーレイクゴールズ（MLGs）推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	MLGs啓発事業、webニュースサイト運営事業	開始年度	令和 3 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課	終了年度	令和 9 年度

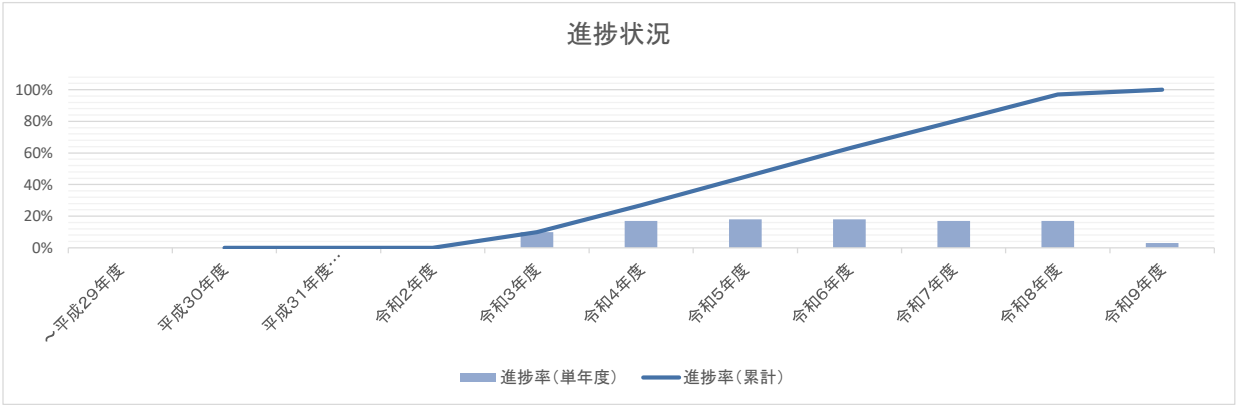
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0	0	
講師旅費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
借料	0	0	0	
委託費	10,383,330	3,281,130	7,102,200	MLGsみんなのBIWAKO会議開催費用等
負担金	0	0	0	
合計	10,383,330	3,281,130	7,102,200	(単位：円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		0	0	0	4,650	8,263	7,103	7,798	6,900	6,900	1,839
事業費(累計)		0	0	0	4,650	12,913	20,016	27,814	34,714	41,614	43,453

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		0%	0%	0%	10%	17%	18%	18%	17%	17%	3%
進捗率(累計)		0%	0%	0%	10%	27%	45%	63%	80%	97%	100%



令和5年度 事業報告書

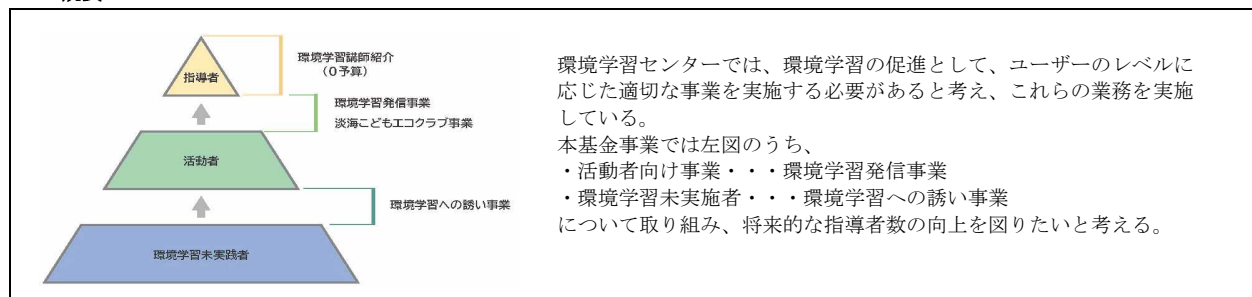
事業名	環境学習センター事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和3年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖博物館環境学習センター	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】地域を愛し、自ら行動できる人育てによる、「いのち」がつながる持続可能な社会づくりを基本目標として、啓発イベントや誰もが簡単に組み入れる環境学習メニューの作成などを通して環境学習指導者となる人材を新たに発掘し、相互交流可能なwebサイトを活用して環境学習団体の活動をサポートすることで、次世代の環境学習の発展に寄与する。

【目標】指導者登録数の向上（新規登録者数70人（R3～R9通算））、環境学習の機会創出

2. 概要



3. 根拠法令等

滋賀県環境学習の推進に関する条例
滋賀県環境学習推進計画

4. 実施内容等

- ①小中学校への環境学習提案事業
環境学習活動を行っている地域の人々や教員等が、環境学習の指導者としてのスキルアップができる機会として、以下のイベントを実施し、活動への支援を図った。
テーマ：「淡海こどもエコクラブ活動者交流会」 場所：滋賀県立琵琶湖博物館 日程：令和6年3月17日（日）
学校の教員向けに淡海こどもエコクラブをはじめとした環境学習センターの活用を促すとともに、環境学習センターで貸出キットとして用意している「アロマウォーター作りキット」の使い方の解説を、実践を行い、貸出用具の活用促進を行った。
- ②環境学習情報発信事業
令和3年に開設した環境学習情報発信サイト「エコロレーが」の運用を行い、滋賀県内で環境学習に取り組まれている活動者の人材登録や提供可能なプログラム等の環境学習情報の収集・発信を行った。また、貸出用具の利用者に対してアンケートを実施し、貸出用具の改善や拡充の参考にするとともに、効果的な広報の機会について調査を行った。
- ③環境学習への誘い事業
環境学習を手軽に実施いただくため、個人・団体向けに環境学習を行うのに必要な用具を貸し出すための整備を行っている。令和5年度は、下記の2種類のキットを追加した。
・鉱物採取キット（鉱物ハンマー、タガネ、ヘルメット、保護メガネ）・幼児用ライフジャケット
貸出用具の周知・普及のため、イベントの実施と合わせて貸出用具の展示等を行った。
（1）「夏休み！自由研究応援展」
・場所：草津市近鉄百貨店 会期：令和5年7月12日～7月23日
・内容：貸出用具の紹介展示、地域環境活動団体の紹介、顕微鏡を用いたプランクトン観察（7月16・23日）
（2）イナズマロックフェス2023「おいでーな滋賀 体感フェア」への出展
・場所：鳥丸半島 イナズマロックフェス2023会場の無料エリア
・内容：環境学習センターの紹介
- 環境学習へのきっかけづくりとして、これまで微小生物に関心がなかった方々に、微小生物に興味を持ってもらうために、琵琶湖博物館にてギャラリー展を実施した。
・テーマ：2023年度ギャラリー展「ブッカブカ美小生物展 ミクロでアートな生きものたち」
・会期：2023年5月5日（金）～6月11日（日）
・内容：微小生物とアートがコラボした展示、関連するイベントを実施

令和 5 年度 事業報告書

事業名	環境学習センター事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和 3 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖博物館環境学習センター	終了年度	令和 8 年度

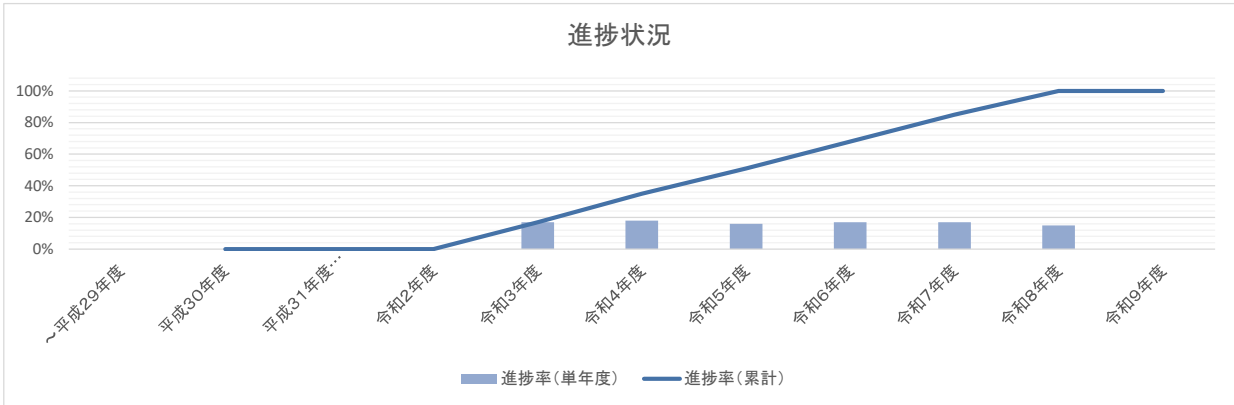
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	28,040		28,040	
講師旅費	0		0	
印刷製本費	224,400		224,400	
借料	100,000		100,000	
委託費	1,809,108		1,809,108	
備品購入費	159,533		159,533	
役務費	506,340		506,340	
需用費	327,797		327,797	
負担金	11,000		11,000	
合計	3,166,218	0	3,166,218	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)					5,901	6,154	3,167	4,500	4,500	4,500	0
事業費 (累計)		0	0	0	5,901	12,055	15,222	19,722	24,222	28,722	28,722

6. 進捗状況等

年度	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)					17%	18%	16%	17%	17%	15%	0%
進捗率 (累計)		0%	0%	0%	17%	35%	51%	68%	85%	100%	100%



令和 5 年度 事業報告書

事業名	ごみゼロしが推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	買い物ごみ・食品ロス削減推進事業	開始年度	平成27年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標（値）

プラスチックをはじめとする容器包装廃棄物や食品ロスの削減等、県民の循環型社会や地球温暖化に関する意識の向上と実践取組の促進。

目標値

- ・マイバッグ持参率（レジ袋辞退率） 85%以上
- ・食品ロス削減を認知して削減に取り組む消費者の割合 令和7年度までに80%以上（2020年は78.3%）
- ・「三方よしフードエコ推奨店」の累計登録店舗数 令和7年度までに300店舗（年間新規登録30店舗）

2. 概要

廃棄物削減のため、これまで県内で実施されるイベント等やキャンペーンを通じて啓発を実施してきたほか、事業者、県民団体、行政等で構成する「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」において、「レジ袋削減の取組に関する協定」の締結など、小売店舗との連携した取組の検討や意見交換を行い、県民や事業者の取組の推進を図ってきた。

また、平成29年度から「三方よしフードエコ推奨店登録制度」の運用を開始し、食品ロス削減等の取組を実践する県内の店舗等を「三方よしフードエコ推奨店」として登録（令和5年度末時点で355店舗）することで、外食および食料品販売に係る食品ロス削減の取組を促進するとともに、県民等の意識啓発を行っている。

加えて、令和4年度から「しがプラスチック削減行動宣言」制度を開始し、プラスチックごみの発生抑制等を独自取組により推進することを事業者に宣言してもらい、この宣言を広く県民等へ周知することで、全県的な事業者取組への協力・拡大につなげることができた（令和5年度末時点で、宣言者数23者、334店舗）。

令和5年度は、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を踏まえ、プラスチックごみの削減を実践する「しがプラチャレンジの日」を毎月一日に設定し、具体的に取り組む内容を「プラチャレ通信」として配信することで県民等の意識醸成を図った。併せて、10月を「しがプラチャレンジ推進月間」とし、集中的な普及啓発を実施し、実践取組を推進した。

3. 根拠法令等

循環型社会形成推進基本法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律
食品ロス削減の推進に関する法律、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律

4. 実施内容等

＜買い物ごみ・食品ロス削減の推進＞

- (1) プラスチックごみ対策
 - ア 「しがプラスチックごみ削減行動宣言」の参加拡充（継続・拡充）：R5年度末宣言者23者、334店舗
 - イ しがプラスチックチャレンジプロジェクト：毎月一日を「しがプラチャレンジの日」、10月を「しがプラチャレンジ推進月間」に設定し、プラスチックごみ削減の実践取組を支援するため、各種啓発動画、資材を作成し、普及啓発を実施
 - ウ プラスチック代替製品に関する情報収集・発信（新規）：プラスチック代替製品ガイドブックを作成（R6.1）
- (2) 食品ロス対策
 - ア 三方よしフードエコ推奨店制度の周知・登録店舗の拡大等（継続）：累計登録店舗数 355店舗（46店舗増加）
 - イ 未利用食品活用に資するフードドライブの普及・拡大（継続）：1町で連携フードドライブを実施（愛荘町）
 - ウ 食品ロス削減に関する優良取組表彰（拡充）：3者を表彰
- (3) プラスチックごみ、食品ロス共通対策
 - ア プラスチックごみ・食品ロス削減等実践モデル事業補助金（拡充）：1つのモデル事業を支援
 - イ 製造者と県民等をつなぐサーキュラーエコノミー促進・啓発（新規）：ラジオ放送局と連携し、サーキュラーエコノミーに関する事業者の取組を小売店の利用者に啓発するイベントを草津市および野洲市で計3回実施
 - ウ 子どもたちを中心としたブラごみ・食品ロス削減普及啓発（新規）：子ども向け啓発動画、パネルを作成
 - エ ごみ減量および資源化情報提供サイト「ごみゼロしが」ホームページのリニューアル（新規）：ホームページをリニューアルし、プラスチックごみ、食品ロス削減をメインコンテンツとして、子ども向けページも充実させた「ごみゼロチャレンジしが」を開設
 - オ 「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」の運営・拡大（継続）
 - カ 協働キャンペーンの実施（継続）：18事業者（134店舗）、7団体、県および19市町が実施
 - キ ごみ3R出前講座（継続）：5回実施（栗東市ごみ減量リサイクル推進会議 他）
 - ク 迅速・効果的な事業実施に資する県民意識の実態把握（継続）
 - ケ 滋賀グリーン活動ネットワーク（SGN）の支援（継続）※一般財源

令和 5 年度 事業報告書

事業名	ごみゼロしが推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	買い物ごみ・食品ロス削減推進事業	開始年度	平成27年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課	終了年度	令和 8 年度

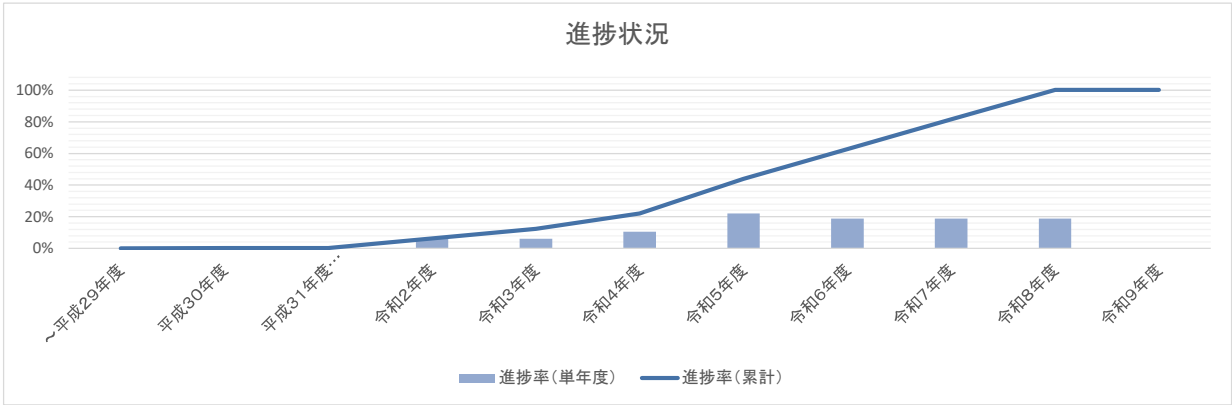
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	24,580		24,580	職員旅費、高速道路使用料
講師旅費	70,000		70,000	協議会委員謝礼、有識者謝礼 協議会委員旅費、有識者旅費
印刷製本費	117,150		117,150	啓発資料の作成
需用費	219,230		219,230	
委託費	12,486,799		12,486,799	普及啓発プロジェクト、タイアップイベント、HP維持管理、県民意識調査
負担金	1,932,432	1,800,000	132,432	団体等の活動に対する支援
合計	14,850,191	1,800,000	13,050,191	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)		95	75	3,565	3,787	6,477	13,051	11,625	11,625	11,625	0
事業費 (累計)	100	195	270	3,835	7,622	14,099	27,150	38,775	50,400	62,025	62,025

6. 進捗状況等

年度	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)		0%	0%	6%	6%	10%	22%	19%	19%	19%	0%
進捗率 (累計)	0%	0%	0%	6%	12%	22%	44%	63%	81%	100%	100%



令和 5 年度 事業報告書

事業名	ラムサール条約推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	ラムサール条約推進事業	開始年度	令和 4 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課	終了年度	令和 9 年度

1. 目的及び目標（値）

琵琶湖および西之湖は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」、通称「ラムサール条約」でラムサール条約湿地に登録されている（琵琶湖：平成5年登録、西之湖：平成20年拡大登録）。ラムサール条約では、「保全・再生」、「賢明な利用」、「交流・学習」の推進が掲げられている。環境保全の核となる次世代リーダーの育成を目的とする子ども環境学習交流事業や愛鳥思想を育むことを目的とする愛鳥観察会等を通してラムサール条約湿地としての琵琶湖の普及推進を行う。

〈目標値〉
 子ども環境リーダーの育成 10人/年
 愛鳥観察会 5回/年

2. 概要

琵琶湖および西之湖は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」、通称「ラムサール条約」でラムサール条約湿地に登録されている。ラムサール条約では、「保全・再生」、「賢明な利用」、「交流・学習」の推進が掲げられている。

環境保全の持続的な推進のためには、将来の環境リーダーとなる人材の育成が必要である。そのような能力は、自ら体験し調べたことを、県の代表として県内外では発表することにより飛躍的に高まる。小学生10名程度を対象に事業を継続して実施し、広い世代にわたる層として、将来の環境リーダーを育成する。

また、水鳥をはじめとする鳥類の観察会や講演会を通して愛鳥思想の普及を図るとともに、ラムサール条約登録湿地としての琵琶湖を普及推進していく。

3. 根拠法令等

特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約（ラムサール条約）

4. 実施内容等

（１）子ども環境学習交流事業
 小学校5,6年生11名を対象に、以下のようなプログラムを通して将来の環境リーダーを育成した。

- ・琵琶湖に関する学習会（４回）
- ・先輩リーダーとの交流会
- ・県外での発表・交流（佐賀県東よか干潟）
- ・まとめの報告会

（２）愛鳥観察会の実施

- 愛鳥モデル校を主な対象に、水鳥をはじめとする鳥類の観察会や講演会を開催した。
- ・５回実施（甲南第三小学校、常盤小学校、田根小学校、朝日小学校、桜谷小学校）

令和 5 年度 事業報告書

事業名	ラムサール条約推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	ラムサール条約推進事業	開始年度	令和 4 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課	終了年度	令和 9 年度

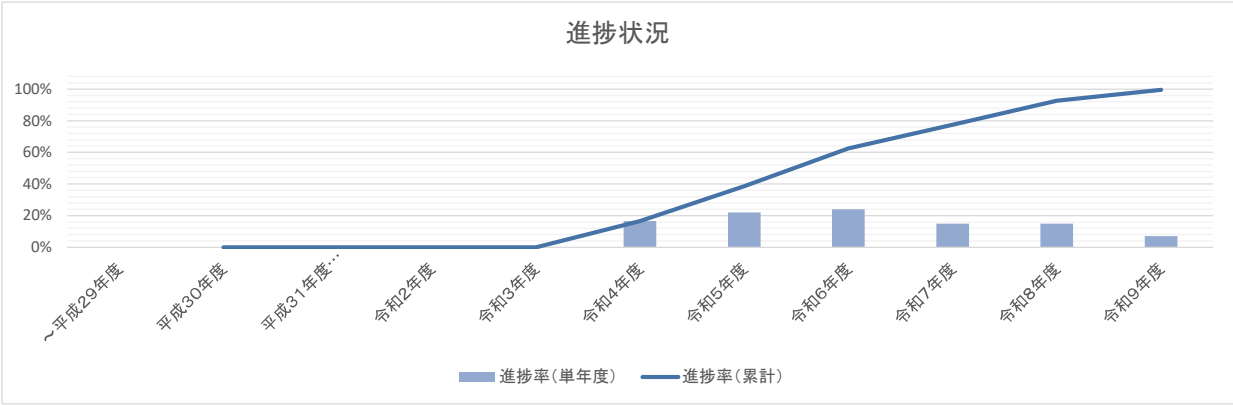
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	58,080		58,080	環境学習事業職員旅費
印刷製本費	49,830		49,830	環境学習事業募集ポスター
借料	0			
委託費	2,513,500		2,513,500	ラムサールびわっこ大使事業業務委託
負担金	0			
合計	2,621,410	0	2,621,410	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)						2,283	2,622	2,936	2,397	2,397	1,750
事業費 (累計)		0	0	0	0	2,283	4,905	7,841	10,238	12,635	14,385

6. 進捗状況等

年度	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)		0%	0%	0%	0%	17%	22%	24%	15%	15%	7%
進捗率 (累計)		0%	0%	0%	0%	17%	39%	63%	78%	93%	100%



令和 5 年度 事業報告書

事業名	琵琶湖流域におけるプラスチックごみの収支・起源と科学的情報発信に関する研究	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	令和 5 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部環境政策課	終了年度	令和 7 年度

1. 目的及び目標（値）

世界的にプラスチックごみ問題が大きな社会的課題となっている中、琵琶湖流域におけるプラスチックごみの収支・起源と科学的情報発信に関する研究を行い、研究成果をプラスチックごみの発生抑制に向けた効果的な啓発施策等につなげていくことで県民の意識向上を図り、本県における循環共生型社会の実現に寄与する。

【令和 5 年度目標】
ワークショップ開催 4 回程度

2. 概要

滋賀県内の河川の大部分が県内の農地や市街地等を経由して琵琶湖へ流入する地勢から、本県での社会生活や事業活動によって流出するプラスチックごみが琵琶湖に蓄積するなどの懸念がある。また、マイクロプラスチックも検出されている状況であるが、プラスチックごみの発生源および河川や琵琶湖への流出入に関する知見が十分ではない。

そこで本事業では、琵琶湖流域におけるプラスチックの収支や起源の解明に関する調査研究を行うことでプラスチック流出対策が必要な地域特性や種類を把握するとともに、プラスチックごみに対する人々の意識変容を促すための科学的な情報発信のあり方について研究を行う。

この研究成果に基づく、プラスチックごみの発生抑制に向けた効果的な啓発施策等につなげていく。

3. 根拠法令等

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
琵琶湖の保全及び再生に関する法律
湖沼水質保全特別措置法

4. 実施内容等

本事業は 3 つのサブテーマにより構成しており、それぞれ次のとおり実施した。

1. 陸域・河川におけるプラスチック量の把握とモデル解析
 - ・プラスチックの発生・流下過程をモデルを用いて検討するため、陸域水物質循環モデルを改良した。
 - ・プラスチックの発生源や（河川を通じた）琵琶湖への流入量を把握するため、市街地排水路、農業排水路、河川の各 1 地点においてマクロプラスチック、マイクロプラスチックの調査を実施した。
2. 湖内におけるプラスチック量の把握
 - ・琵琶湖内のマイクロプラスチックの状況を把握するため、北湖の沿岸部、湖心、水深別、および南湖における調査を実施した。
3. プラスチックごみに対する意識変容を促す科学的情報発信のあり方調査
 - ・多様な主体が考えるプラスチックごみ問題に対する知識・認識・イメージ・リスク認知等を把握するため、ワークショップを開催した。（計 5 回）

令和 5 年度 事業報告書

事業名	琵琶湖流域におけるプラスチックごみの収支・起源と科学的情報発信に関する研究	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	令和 5 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部環境政策課	終了年度	令和 7 年度

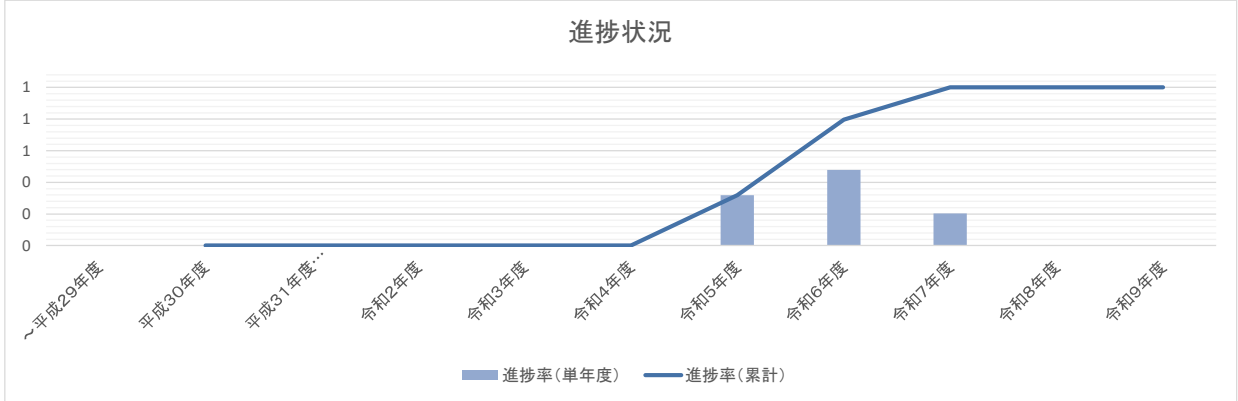
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備 考
職員旅費	4,830		4,830	
講師旅費	0		0	
備品購入費	349,470		349,470	
その他需用費	225,226		225,226	
印刷製本費	0		0	
借料	0		0	
委託費	11,891,000		11,891,000	
負担金	0		0	
合計	12,470,526	0	12,470,526	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)							12,471	18,804	7,979		
事業費 (累計)		0	0	0	0	0	12,471	31,275	39,254	39,254	39,254

6. 進捗状況等

年度	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)							32%	48%	20%		
進捗率 (累計)		0%	0%	0%	0%	0%	32%	80%	100%	100%	100%



令和 5 年度 事業報告書

事業名	下水道を入り口とした環境学習推進事業	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	令和 5 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部下水道課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標（値）

草津市にある矢橋帰帆島には、下水道の浄化センターと帰帆島公園、下水道の啓発拠点としての淡海環境プラザが設置されており、帰帆島公園には年間50万人程度の来園者がある。

展示の充実や環境学習プランの整備等により、水環境を中心に多様な環境課題の発信につながる魅力的な施設になることを目指すとともに、島内の各施設を巡りながら環境が学べる島としていく。

【目標】

- ・環境学習ツアー・・・年間通じて 2 回程度開催
- ・環境学習メニュー紹介パンフレット・・・500部作成/年

2. 概要

水環境を中心に多様な環境課題が学べる展示物の作成、島一帯での環境学習プランの整備、環境学習ツアー等を行うことで、下水道を入口に環境についてより深く学べるシステムを構築し、環境保全に係る普及啓発を推進する。R5年度は汚水処理の手順等について学べる什器の設置に加え、帰帆島全体を活用した環境学習ツアーを開催する（浄化センター見学を含む）。

3. 根拠法令等

環境教育等促進法
滋賀県環境学習の推進に関する条例

4. 実施内容等

矢橋帰帆島を下水道を入り口として広く深く環境について学べる島とするため、以下の内容を実施。

(1) 淡海環境プラザの展示の充実

下水道、水環境、資源循環、温暖化対策等、環境全般を学べる展示物（パネルや木製模型等）を作成した。具体的には、マンホール蓋の展示や環境問題に関する掲示、下水道について学習できる什器を設置した。

(2) 環境学習プランの作成、広報

プラザでの学習のみならず、浄化センター等を含む学習プランを作成した。また、学習プランの紹介パンフレットを500部作成し、県内の小学校に配布した。

(3) プラザ展示説明マニュアルの作成

(1)の展示について、担当者以外でも説明できるマニュアルを作成した。

(4) 環境学習ツアーの開催

公園と連携し、(1)の展示や学習プランを活用した環境学習ツアーを 2 月11日と 3 月10日の二日間にわたって開催した。

令和 5 年度 事業報告書

事業名	下水道を入り口とした環境学習推進事業	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	令和 5 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部下水道課	終了年度	令和 8 年度

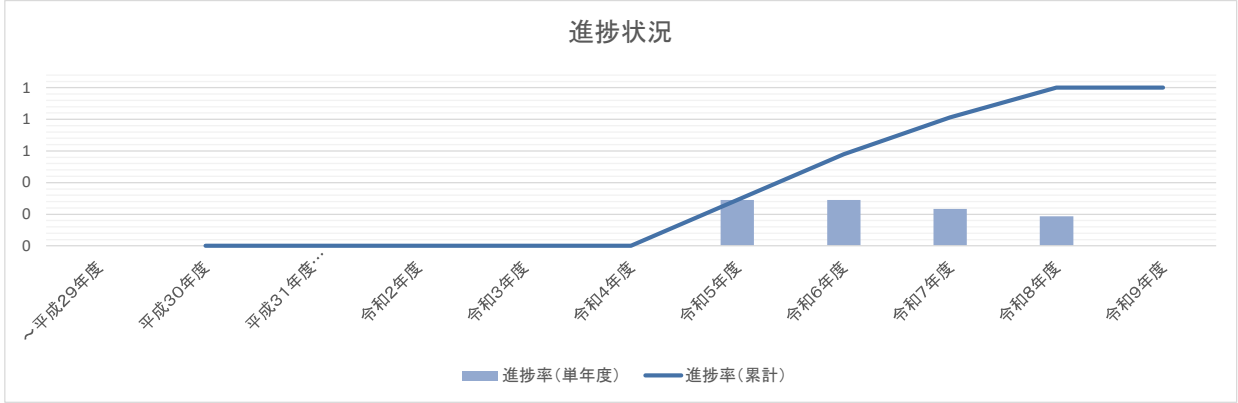
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	6,957,500		6,957,500	
負担金	0			
合計	6,957,500	0	6,957,500	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)							6,958	7,000	5,600	4,500	
事業費 (累計)		0	0	0	0	0	6,958	13,958	19,558	24,058	24,058

6. 進捗状況等

年度	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)							29%	29%	23%	19%	
進捗率 (累計)		0%	0%	0%	0%	0%	29%	58%	81%	100%	100%



令和 5 年度 事業報告書

事業名	外来生物防除普及啓発事業	新規・継続区分	新規
事項名	外来生物防除普及啓発事業	開始年度	令和 5 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課	終了年度	令和 6 年度

1. 目的及び目標（値）

- (1) 改正外来生物法と県内における外来生物の状況の普及啓発
県内の外来生物の状況や改正外来生物法について啓発するチラシを作成し、配布する。
- (2) 地元企業等と協働で外来生物防除の実施
地元企業や自治会等と協働で外来生物の防除活動を実施する。

2. 概要

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下、「外来生物法」という）の改正（R4.5.18公布）に伴い、新たに定着が既に確認されている外来生物による被害の防止のために必要な措置の実施について、都道府県の責務となることから、県民やNPO法人、市町などの多様な主体による防除活動を支援するとともに、被害予防のための普及啓発を行う。

3. 根拠法令等

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

4. 実施内容等

- ・ 令和 5 年6月1日にアカミミガメとアメリカザリガニが条件付特定外来生物に指定されたが、アカミミガメについては、一般市民による防除対応が難しいことから（できる限り苦痛を与えない方法によること、飼養者も多く抵抗感もあること）、行政による対応要請が多く、チラシ等による従来型の啓発を予定どおり執行することによる事業効果も勘案し、執行を見送った。
- ・ オオキンケイギクへの対応については、道路管理者等を通じて対応できていることから、普及啓発チラシの作成は行わず、オオバナミズキンバイ等侵略的外来水生植物への対応に関し、地域や関係機関等が行う水辺での保全活動や講演会に、職員が講師等として普及啓発を行った。
- ・ これらを踏まえ、R5年4月の外来生物法改正で新設された、定着した特定外来生物の被害防止に係る都道府県の責務という観点から、市町等との協力体制も含めたアカミミガメの引き取り支援を検討し、令和6年度の本事業において試行する予定。

令和 5 年度 事業報告書

事業名	外来生物防除普及啓発事業	新規・継続区分	新規
事項名	外来生物防除普及啓発事業	開始年度	令和 5 年度
担当部署	滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課	終了年度	令和 6 年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0	0		
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	0			
負担金	0			
合計	0	0	0	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)							0	1, 000			
事業費 (累計)		0	0	0	0	0	0	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000

6. 進捗状況等

年度	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)							0%	100%			
進捗率 (累計)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	100%	100%	100%

